



# 第4回 のびのびセミナー ごあんない

2013年6月15日(土)・16日(日)

## 姫路獨協大学

第4回は障がい者支援・子育てのあり方を「地域との共生」という視点から考えるセミナーにしたいと思います。多くの保護者、教育保育関係者、療育関係者のご参加をお待ちしています。

### — 参加申し込み方法 —

参加費無料  
定員200名

往復はがきにてお申込み下さい。

往信面に、参加者氏名・連絡先・交通手段（1. 公共交通機関（バス等）2. 車利用  
3. その他）を明記してください。

返信面には、返信先住所・氏名を明記し、下記、送付先へ郵送して下さい。

2013年5月末を締め切りとしますが、先着順に受け付けの上、定員になり次第締め切ります。

●送付先

〒670-8524 姫路市上大野7-2-1 姫路獨協大学 地域連携課 のびのびセミナー係

●お問い合わせ

TEL : 079-223-9022 (作業療法学科助手室 梅本)

E-mail : [2013nobinobi@gmail.com](mailto:2013nobinobi@gmail.com)

主催：姫路獨協大学医療保健学部 子育て・発達障害サポート運営委員会

後援：姫路市・姫路市教育委員会

第1日目：6月15日（土）

14:00 - 15:00



「肢体不自由児の生活世界（僕（私）の世の中は、こうだった!）」

● 村井弘育：作業療法学科 教授

講義棟304B教室

身体の障害をもった子ども達は、その障害によって制限された中で日常の遊びや人との関係を作り、自分の身体を理解し、人や物との関係を理解します。そこには、我々が経験してきた世界と明らかに違う世界が存在します。障害をもった子どもたちの理解の為にその世界の入り口から一緒に考えていければと思います。

『「のびのび育つ」を応援したい。』

● 森脇裕美子：こども保健学科 講師

講義棟305B教室

全ての子どもは、素敵に育つ力を備えています。私達、周りの大人にできることは、子ども達の「育とう!」とする力を支え、応援することです。

子どもの育ちに様々な問題が指摘される今日、改めて子ども達が「のびのび育つ」ために周囲の大人ができることの基本を振り返ってみませんか？

15:15 - 16:30

「子どもの手から広がる体験世界」

● 森田恵子：こども保健学科 准教授

講義棟304B教室

子ども時代に手を豊かに使い、手を使うといろいろなことができることを理解することは大切な学習です。そして子どもが自分の手を理解する過程で、他者の手に触れ、触れ合うことも意味深い体験となります。触れる・触れ合う体験が、子どもの世界を脅かすことのない楽しい体験となるかわりを考えていきたいと思います。

「心を育てる音楽」

● 田中麻貴：こども保健学科 講師

講義棟203T教室

聴覚の発達、乳児後期から幼児期にかけて最も著しく、その頃に聴覚機能の発達はほぼ完成の域に達すると言われています。この時期に豊かな音楽遊びを体験することは、情操や感性を育てる上で極めて重要です。このような時期にどのような音楽を与えれば良いか、皆さんと一緒に考えていきたいです。

第2日目：6月16日（日）



10:30 - 11:30

「地域の保育所・幼稚園における作業療法 ～生き生きと過ごすお手伝い～」

- 石原詩子：京丹波町 子育て支援課 作業療法士 講義棟304B教室

保育所・幼稚園に出向くと、すてきな笑顔にお会いすると同時に、困っている顔にも出会います。子どもたちが初めて集団生活を送る場で、困っていること、その理由、人との関わりの中で生き生きと過ごせるようにどう取り組むか、実例を通してご紹介します。

「来て見て体験してみよう わくわくプレイルーム」

- 梅本静香：作業療法学科 助教 プレイルーム

地域の子どもたちがやって来る“わくわくプレイルーム”。大好きなトランポリンを跳んでいる時、苦手なことに挑戦できた時、友達と協力して遊べた時等々、子どもたちは満開の笑顔を見せてくれます。プレイルームで子どもたちが感じている世界を味わってみてください。

12:00 - 12:45

「ドイツ国際平和村の活動紹介」

- 田島彰子：医療法人原三信病院 香椎原病院 リハビリテーション科 理学療法士  
創立20周年記念ホール（講義棟3階）

ドイツ市民の手によって紛争地域や危機に瀕した地域の子どもたちを助けるために設立された国際平和村の活動についてご紹介します。

13:00 - 14:00

特別講演：「この町で、生きるということ」～障害を持つ子と共に～

- 石井めぐみさん 創立20周年記念ホール（講義棟3階）

障害を持つ子どもと町を歩くと、さまざまなことに気がきます。

みなさんが、ほんの少しの「思いやり」を持つことで、ほんとうに住みやすい町は自然とできて行くのです。

住んでいる人みんなが幸せを感じられるような町を、住民の手で作っていきましょう。

## 特別講演

# 「この町で、生きるということ」

～障害を持つ子と共に～

講師：石井 めぐみ さん



### — Profile —

1958年 東京都調布市生まれ。早稲田大学教育学部卒業。

1979年 松竹映画「夜叉ヶ池」で芸能界デビュー。

その後、「噂の刑事トミーとマツ」「おんな太閤記」などに出演。

「オレたちひょうきん族」のレギュラーとなるなど、

バラエティーのジャンルでも活躍する。

1996年 障害を抱えて生まれた長男の成長を綴った『笑ってよゆっぴい』を執筆。

同年、その著書をもとに制作された「ゆっぴいのぼんそうこう」がフジテレビで放送され話題になった。

講演やドラマを中心に活躍しながら重度障害児親の会「てんしのわ」を発足  
障害者と健常者が共に生きる町作りをめざした啓蒙活動を行っている。

2009年 サロン「ラ・アンジェ」を立ち上げ、女性のライフステージのサポートを行っている。

現在は、女優業と共に、ファイナンシャルプランナー、美容家、  
フォトグラファーとしても活動。